

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 28 年 1 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 1～7）

9 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、グスク火口周辺や硫黄岳火口内では特段の変化は認められませんでした。また、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水が長さ約 500 m、幅約 150m にわたって分布していました。

11 日に気象庁が海上から実施した観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。また、赤外熱映像装置¹⁾ による観測では、島内の地表面温度分布に異常は認められませんでした。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

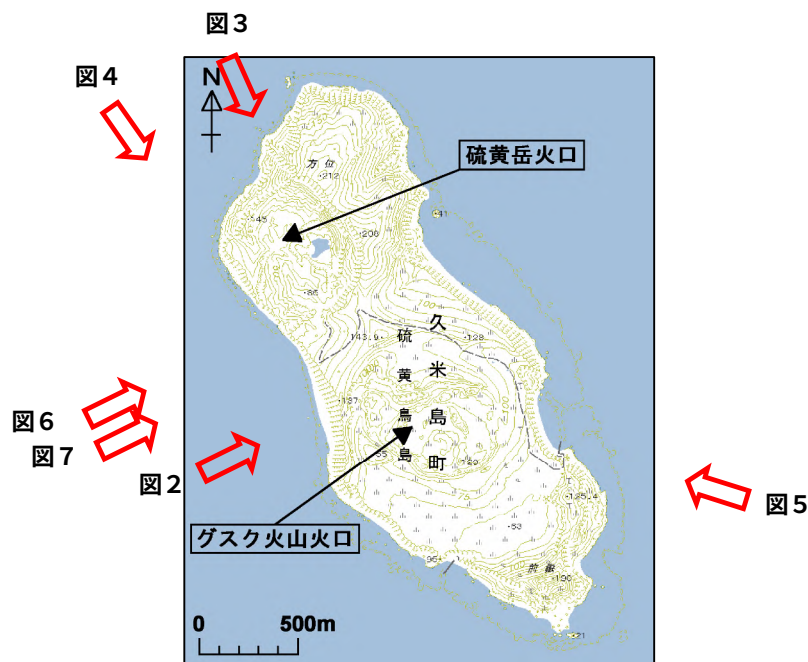


図 1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図2 硫黄鳥島 グスク火口北側火口壁（上）及び
グスク火口（下）の噴気の状態（9日）
（第十一管区海上保安本部提供）



図3 硫黄鳥島 硫黄岳火口の噴気（9日）
（第十一管区海上保安本部提供）

- ・グスク火口北側火口壁及びグスク火口（図2）にそれぞれ白色噴気が認められました。
- ・硫黄岳火口内の数カ所に白色噴気が認められました（図3）。



図4 硫黄鳥島 硫黄岳火口の西側海岸線の変色水域の状況（9日） （第十一管区海上保安本部提供）
・硫黄岳火口の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水が長さ約 500m幅、約 150mにわたって分布していました。



図5 硫黄鳥島 グスク火口付近の状況（11 日）



図6 硫黄鳥島 硫黄岳火口付近の状況（11 日）



図7 硫黄鳥島 赤外熱映像装置による硫黄岳火口の地表面温度分布（火口南西側から撮影）

・11 日に気象庁が海上から実施した観測では、従来から認められているグスク火口や硫黄岳火口の噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。